

レスポンスブル・ケア活動の取り組みと実績

環境や安全に関する各種課題に対して、方針を策定し、継続的改善に取り組んでいます。
また、環境保全対策に要したコストとその効果を評価するために、環境会計を実施し公表しています。

● 2021年度の主な取り組み結果および2022年度実施事項

分類	取り組み項目	2021年度 結果	自己評価	2022年度 実施事項
環境保全	温室効果ガス排出削減 省エネルギー活動の推進	エネルギー原単位年平均1.6%改善(5年度間) 岡山工場においてエネルギーの見える化、蒸気配管の改善を実施(p21)	○	省エネ最適化診断の受診 カーボンニュートラル対応方針の策定
労働安全衛生・ 保安防災	労働災害・設備災害の撲滅	休業災害 2件 (p23)、設備災害 0件	×	発生した労働災害の再発防止対策について 検証
物流安全	物流安全の確保	イエローカードの携行を推進(p24)	○	イエローカードによる安全情報の提供
化学品・製品安全	化学品・製品の安全確保	安全データシート(SDS)の提供(p24)	○	改正化管法*2等に基づくSDSの改訂
社会との対話	社会への情報公開推進	TCFD*1に関する情報収集、対応検討 「HOKKO レポート 2021」発行	○	TCFDへの対応 「HOKKO レポート 2022」発行
	地域社会との交流推進	各事業所において地域社会との交流を推進 (p26)		地域住民・地域行政等との対話、地域活動 への参加によるコミュニケーションの推進

*1 TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース

*2 化管法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

● 環境会計

環境保全コスト

(単位:百万円)

分類	主な取り組み内容	投資額*3	費用額*4
1	事業活動により事業エリア内で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト(事業エリア内コスト)	191	373
	内訳		
	公害防止コスト	34	131
	地球環境保全コスト	153	0
	資源循環コスト	4	242
2	事業活動に伴ってその上流または下流で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト(上・下流コスト)	0	10
3	管理活動における環境保全コスト(管理活動コスト)	10	68
4	研究開発活動における環境保全コスト(研究開発コスト)	0	33
5	社会活動における環境保全コスト(社会活動コスト)	0	0
6	環境損傷に対応するコスト(環境損傷対応コスト)	0	0
合計		201	484

*3 投資額：環境保全に関する設備投資

*4 費用額：環境保全に関する減価償却費、維持運営費

環境保全効果

環境保全効果に伴う経済効果 (単位:百万円)

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2020年度	2021年度	対前年増減量
事業活動に投入する資源 に関する環境保全効果	総エネルギー投入量 (kL)	11,960	12,313	353
	上水道使用量 (千m ³)	440	455	15
事業活動から排出する 環境負荷及び廃棄物に 関する環境保全効果	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	30,443	31,513	1,070
	COD排出量 (t)	20.7	20.7	0.0
	廃棄物等総排出量 (t)	6,729	6,149	-580
	リサイクル量 (t)	4,950	4,563	-387
	廃棄物最終処分量 (t)	458	437	-21

効果の内容	金額
有価物売却額	12

※環境省「環境会計ガイドライン2005年版」、(社)日本化学工業協会、日本レスポンスブル・ケア協議会「化学企業のための環境会計ガイドライン」に準じて算定しています。

※2020年度の廃棄物等総排出量については、見直しを行い、修正しています。